

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

# 事務事業評価表（補助金等）

1 事業名	おかやブランドプロモーション協議会負担金			事務事業コード	23302	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	ブランド推進室	担当者	三澤 達也
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	観光の振興	
		事務事業	おかやブランドプロモーション協議会負担金			
		予算科目	ブランド推進事業	業務委託	一部委託	
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	あり	
	根拠法令等	なし				

## ●事業の内容（D0）

4 補助等の内容		* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容	
① 性質	負担金	② 期間	平成25 年度 ~ 年度
補助金の種別	協働的事業補助	③ 対象	その他
④ 制度の内容	シルクの歴史や文化、豊かな自然などの地域資源を活かした魅力ある地域づくりを進めるとともに、岡谷ブランドとして積極的に情報発信することで、本市の認知度を高め、交流人口を増加させ、移住、さらには定住意欲の醸成につなげる。		
⑤ 積算方法	事業費の一部を負担する。		
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	地域外からの誘客と市民の地元に対する愛着心の醸成。地域経済の活性化		

## 5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	319,000	300,000	300,000	300,000
財源内訳				
一般財源	319,000	300,000	300,000	300,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	319,000	300,000	300,000	
予算執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
支出額の前年度比		94.0%	100.0%	

③ 29年度の交付先  
おかやブランドプロモーション協議会

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		* 妥当性 = 行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5 4	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		0		
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1			
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		標準	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。		0	5 7	
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。		0		
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。	1			

7 有効性評価		* 有効性 = 成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性		標準	
評価項目		はい	いいえ				
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。		0				
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1					
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1					
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1					
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	100.0%	1		

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡谷ブランドを構築するためには、ブランドコンセプトによる長期的な取り組みと官民協働による取り組みが望ましいが、民間での事業推進を図る仕組みづくりやスポンサーの獲得などが課題である。</li> <li>養蚕から生糸製造、シルク商品の開発まで一貫した取り組みの実施が課題である。</li> </ul>
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業との連携、協力体制の確立、共同企画等の実施を検討する。</li> <li>地域おこし協力隊導入事業により、養蚕業の促進やシルク関連商品の開発など、岡谷ブランドの更なる推進を実施する。</li> </ul>
改善開始時期	平成30年4月～

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------